

県議会の傍聴をポスターで呼びかけ 未来のいわてはここからはじまる 行ってみようよ! 県議会



盛合 絢葉さん

村上 朔さん

高橋 未希さん

佐々木 初恵さん

岩手県議会では、選挙権年齢の18歳以上への引き下げに伴い、若者に県議会への興味・関心を持っていただくためにポスターデザインを公募し、コンテストを実施しました。若い豊かな感性で描かれた作品の応募が多数あり、その中から選ばれた入賞4作品と制作者の感想を紹介します。

受賞者の感想

★入賞

もりあい まやは
盛合 絢葉さん
(岩手県立宮古高等学校)

より若い人たちの目に留まりやすいように、中心に男子生徒を置くデザインにしました。初めて議会を傍聴して、新たな気づきを得ている姿をイメージしています。特にインスピレーションに輝く表情に思いを込めました。これから若者が岩手の未来を築いていく一歩になればいいと思います。

★議長賞

むらかみ さく
村上 朔さん
(岩手県立一関第一高等学校)

「岩手の未来に向かって、より高みを目指して登っていく」という思いから、登山をモチーフにしました。同時に、岩手の自然の美しさや険しさも表現しています。若者が一歩一歩登っていく先には青空が広がって光が差し込み、彼のきりりとした眼差しは、岩手の未来を見つめています。

★副議長賞

たかはし みき
高橋 未希さん
(岩手県立産業技術短期大学校)

県議会への関心が薄い若い人たちに、少しでも興味を持つきっかけになってくれたらと思って制作しました。身の回りのことに目を向け、今まで知らなかったことに耳をすませて世界を広げ、岩手の未来を創ってほしいです。自分自身を投影しながらポスターを見ていただけたらと思います。

★入賞

ささき 初つえ
佐々木 初恵さん
(岩手県立不來方高等学校)

主役は、学生服を着た男女です。岩手の未来を見据えるという意味も込めて、2人を横向きに配置し、遠くを見つめている構図にしました。若い世代が引っ張っていく岩手の未来は、爽やかな空であるように、背景は「青」にしました。ポスターを見て、県議会に関心を持ってくれたらうれしいです。

4月臨時会のあらまし

4月臨時会が4月28日に開催されました(会期は1日)。令和5年度岩手県一般会計補正予算(第1号)、岩手県県税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについての2件の議案は同日に可決・承認されました。

議決の状況

◎令和5年度補正予算【可決】

一般会計1件

◎専決処分【承認】

岩手県県税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて

6月定例会

6月定例会は、6月23日から7月7日まで開催されました。知事から提出された令和5年度岩手県一般会計補正予算(第2号)など、21件の議案は全て可決・同意され、議員・委員会が提出した計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書など15件の議案は全て可決されました。

また、請願は7件が採択、2件が不採択、1件が審議未了となりました。



採決の様子

議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

■知事提出議案

◎令和5年度補正予算【可決】

一般会計1件

◎条例議案【可決】

岩手県の事務を市町村が処理することとする事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例など8件

◎人事議案【同意】

人事委員会の委員の選任に関し同意を求めることについてなど2件



◎その他の議案【可決】

一般国道397号小谷木橋旧橋撤去(下部工)(第3工区)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど10件

■議員・委員会提出議案

規則1件、意見書14件(詳細は3ページに掲載)

■請願

採択7件、不採択2件、審議未了1件(詳細は2ページに掲載)

令和5年6月定例会

第187号

「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テープ版・デジター版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。

音声データ掲載のご案内
「いわて県議会だより第182号」から、音声データを岩手県議会ホームページに掲載しています。第187号のデータは、10月上旬頃に掲載する予定です。

<https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/dayori/1057389/index.html>



©わんこきょうだい

請願の採択状況

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。
★請願の件名は請願書のとおり記載しています。

◎採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択)

- ▶ ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを求める請願
- ▶ 特定商取引法の平成28年改正における5年後見直し規定に基づく抜本的改正を求める請願
- ▶ 社会保障制度の整備、子育て施策、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願(総務委員会付託分)
- ▶ 社会保障制度の整備、子育て施策、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願(環境福祉委員会付託分)
- ▶ 「健康保険証を持っていない人」をつくり出す健康保険証廃止の中止を求める請願(環境福祉委員会付託分)

- ▶ L G B T理解増進法の改定を求める意見書の提出ならびに岩手県における差別禁止条例の制定及びパートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入を求める請願
- ▶ 認定職業訓練振興のための施策の推進について請願
- ◎不採択
- ▶ 「健康保険証を持っていない人」をつくり出す健康保険証廃止の中止を求める請願(総務委員会付託分)
- ▶ 議員提案による岩手県独自の薬害予防・評価・救済に関する自治立法の請願
- ◎審議未了
- ▶ 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める請願

県政に関する質問から

6月29日から7月4日まで行われた一般質問では、12名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

6/29(木) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。
※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。



1日目

いわて新国会

なかたい ひとし
中平均 議員

◆久慈選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



交流人口拡大と観光振興

問

コロナ禍において、岩手県内の小学校は修学旅行の行き先を県内にシフトしたところだが、今年からの動向が注目されている。

東日本大震災津波を風化させず、非常時における対応を学習する防災教育に関するメニュー、世界遺産の学習と震災学習施設を結ぶルートの構築などで、県内の圏域間の交流を促進することが必要と考えるが、見解を伺う。

答

近年の教育旅行は「環境」や「防災」、「歴史・文化」といった課題・テーマを生徒等が自ら設定した上で、探究を重視した様々な体験型のプログラムを提供していくことが求められている。

このため、三陸DMOセンターが中心となり、三陸鉄道による震災学習列車、漁業者が案内する海の体験・食の体験、琥珀採掘や、塩づくり体験などのコンテンツをパッケージ化した「三陸おすすめ体験プログラム」を制作し、これらのコンテンツと内陸の世界遺産を結び付けたモデルコースの紹介を含めた情報発信に努めている。

新たな交通ネットワークを活用し、内陸部と沿岸部、沿岸北部と沿岸南部など圏域間の交流を促進することは、観光振興を進めていく上で重要な視点であり、今後、新たなコンテンツの発掘や磨き上げを進め、多くの魅力あるモデルコースを提示しながら、本県ならではの教育旅行の魅力を県内外の学校に発信し、誘致拡大に取り組んでいく。



東日本大震災津波伝承館での教育旅行の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 県の財政運営
- 2 人口減少社会への対応
- 3 物価高騰対策
- 4 安心安全な地域づくり ほか



2日目

希望いわて

いとう せいし
伊藤 勢至 議員

◆宮古選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



津波防災対策

問

県が公表した本県最大クラスの津波浸水想定によると、日本海溝・千島海溝沿いにおいてマグニチュード9クラスの地震が発生した場合、本県沿岸には最短で14分、最大で29.5mの津波が押し寄せるとのことである。東日本大震災津波では約6,000人と大きな犠牲を出しており、何としても二度と繰り返してはならない。県の対応について伺う。

答

岩手県地震・津波被害想定調査報告書では、本県最大クラスの地震・津波による被害想定に加え、減災対策の基本的方向性として、県民一人ひとりの避難意識の向上や迅速な避難などの自助の取り組みにより、人的被害を大幅に減らせることを示すとともに、犠牲者をゼロにするため地域や企業、行政等が一体となった共助・公助の取り組みを示した。

県では、昨年11月に沿岸12市町村と岩手県地震・津波減災対策検討会議を立ち上げ、自動車による避難や避難行動要支援者の避難のあり方など、市町村に共通する課題について検討を進めている。

また、市町村が津波避難ビルの指定に必要な調査や住民防災意識の向上、自主防災組織の活性化などに速やかに取り組むことができるよう、今年度、地震・津波対策緊急強化事業費補助金を創設し、市町村の取り組みを支援している。

自助、共助、公助による防災体制づくりを強化するとともに、あらゆる主体と連携しながら、「何としても命を守る」ための地震・津波防災対策に全力で取り組んでいく。



久慈市での避難訓練の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 全国植樹祭の成果
- 2 グリーン／ブルーボンドの今後の取り組みに向けた決意
- 3 サケの自然化増殖の推進
- 4 国際リニアコライダー(ILL)C



3日目

自由民主党

ささき しげみつ
佐々木 茂光 議員

◆陸前高田選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



被災地の人口減少対策

問

地域や産業の振興は人がいてこそ成し遂げられ、被災地に人が戻ってきて初めて復興が完遂したと言える。しかし、東日本大震災津波の発災から、時間の経過とともに、少子化、高齢化がより進み、人口の減少に歯止めがかからない状況にある。人口減少対策は復興の推進の成否に関わるものだと考える。そこで改めて、被災地の人口減少対策について知事の所見を伺う。

答

沿岸被災地においては、復興の推進が人口減少対策でもあると考え、企業立地の推進や地域産業の振興、三陸ジオパークや三陸鉄道、豊かな食材・食文化など、三陸地域の多様な魅力の発信に取り組んできたが、婚姻件数、出生数とも全県平均を上回る減少率で推移しており、他県や県内他圏域への転出も顕著となっている。また、主要魚種の不漁や物価高騰等の課題が復興の進展に影響を与え、厳しい状況が続いている。

このような中、沿岸の地域おこし協力隊員などが、漁業への従事をはじめ、空き家を活用したU・Iターンの促進や地域産品の開発に参画するなど、地域に根差し、地域の課題に積極的に取り組む動きも見られる。今後も第2期アクションプランに掲げる自然減・社会減対策に係る施策を推進するとともに、ニューヨーク・タイムズ紙掲載を契機とした国内外の誘客の取り組みを強化し、更なる交流人口の拡大を図るなど、沿岸地域の特性を踏まえながら、人口減少対策を強力に推し進めていく。



人口問題対策本部会議の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 第一次産業の振興
- 2 国土強靱化と道路ネットワークの整備
- 3 港湾振興策
- 4 鳥獣による農作物被害対策 ほか

議員・委員会が提出した議案

★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

今定例会では規則1件、意見書14件が可決されました。

可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

◎規則

▶岩手県議会会議規則の一部を改正する規則

◎意見書

- ▶計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
- ▶健康保険証廃止の中止等を求める意見書
- ▶性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律の改正を求める意見書
- ▶選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書

- ▶社会保障制度の整備、子育て施策、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実、強化を求める意見書
- ▶特定商取引法の平成28年改正における5年後見直し規定に基づく抜本的改正を求める意見書
- ▶認定職業訓練振興のための施策の推進を求める意見書
- ▶公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の廃止及び教職員の働き方改革の促進を求める意見書
- ▶多文化共生のための社会基盤整備を求める意見書
- ▶新型コロナウイルス感染症に対する適切な対応を求める意見書
- ▶認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる社会の構築を求める意見書
- ▶食料安全保障の強化を求める意見書
- ▶漁業生産力の発展に向けた支援の充実・強化を求める意見書
- ▶ローカル鉄道の維持・確保に向けた支援の強化を求める意見書

6/30(金) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。
※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。



1人目

希望いわて

せきね としのぶ
関根 敏伸 議員

◆北上選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



北上川バレープロジェクト

問

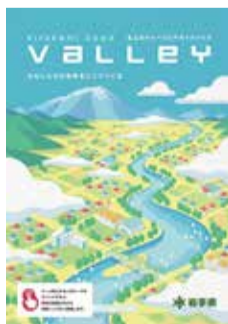
北上川バレープロジェクトによる北上川流域への産業集積や革新的情報産業技術の発展は、働きやすさと暮らしやすさに結び付き、結果的に有効な人口減少対策につながると考える。プロジェクトの推進体制の構築には、多様な主体との連携・協働が重要であるが、現状はどうなっているか。

また、プロジェクトの目標と成果について、他圏域との比較においてどのような状況にあると捉え、県全体に波及させるためにどのような取り組みを進めようとしているのか伺う。

答

北上川流域は、半導体・自動車関連産業を中心に70社が新規立地するなど、産業集積が進行している。プロジェクトの推進に当たっては、半導体やAIの専門家から指導をいただき、県央・県南広域振興圏の16市町で構成する展開研究会を組織し、有識者や民間企業等と連携し、産業分野のDXの推進やAI人材の育成などに取り組んでいる。

成果としては、工場のスマート化による生産の効率化など、産業分野のDXの導入促進、**デマンド型乗合バス**や**モバイルクリニック**など生活分野へのDXの活用、学術機関と地元の高等教育機関との連携によるAI人材育成が挙げられ、北上川バレーエリアガイドブックやSNS「いわてのわ」を活用した情報発信にも取り組んでいる。引き続き、集積産業の裾野の拡大や先進事例の横展開、地域の魅力の情報発信などを進めて成果を県内の他圏域へ波及させ、働きやすく暮らしやすい岩手の実現を目指していく。



北上川バレーエリアガイドブック(表紙)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 地域公共交通政策
- 2 これからの県民医療
- 3 GXの推進
- 4 中小企業政策



2人目

自由民主党

うすざわ つとむ
臼澤 勉 議員

◆紫波選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



地域計画の策定や農地の有効利用

問

本県農業が将来にわたって維持発展していくためには、地域それぞれの特徴を生かし、地域内で幅広く議論し、耕種や畜産などの品目に関係なく、農地を有効活用していく必要がある。国は、地域での話し合いにより、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を、市町村が策定することとして進めているが、県として、農業従事者や水田などの農地の実態を踏まえ、地域計画の策定や農地の有効活用に向けた取り組みをどのように進め、どのように岩手の農業を発展させていくのか伺う。

答

市町村においては、令和6年度末までに将来の農地利用の姿を明確化した地域計画を策定することとされ、県内では約380の地域計画の策定が計画されている。

県では、市町村の取り組みを支援するため、県や農業委員会などで構成する推進チームが中心となって、農地の出し手・受け手の意向把握とともに、将来の農地利用や地域農業を担う経営体の確保・育成に向けた話し合いを進めている。また、モデル地区を県内に4カ所設定し、今年度はモデル地区での取り組みや県外の優良事例などを学ぶ研修会を開催し、計画策定のノウハウなどの普及を図ることとしている。

今後は策定された地域計画に基づき、高収益作物の導入や地域農業を担う経営体への農地の集積・集約化を進め、農業生産の維持・拡大を図るなど、本県農業が持続的に発展するよう関係機関・団体と連携しながら取り組んでいく。



農業(イメージ)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 人口減少と地方創生
- 2 知事の県政運営
- 3 県立高校教育のあり方
- 4 全国植樹祭と緑の少年団



3人目

希望いわて

うへはら やすき
上原 康樹 議員

◆盛岡選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



政策立案における人工知能(AI)の活用

問

県の仕事は実にさまざまな分野に及び、膨大である。AIという新しい道具を、県の仕事に利用できないかと考えるのは自然な成り行きであろう。人間の能力には限界があるため、AIがわれわれの欠点を補ってくれるという意味では、非常に可能性があると思うが、政策の立案、決定においてAIの判断に頼り過ぎれば、人間が片隅に追いやられ、県民不在の県政に陥る可能性も出てくる。

岩手県政、その政策立案において、AIの活用はどのようにすべきと考えているのか伺う。

答

近年、長野県や兵庫県においてAIを活用した政策シミュレーション研究が進められており、本県でも岩手県立大学が京都大学や株式会社日立製作所と共同で同様の研究を進めている。この共同研究のメンバーとなっている京都大学広井教授の著書によれば、AIは、無数のありうる「未来」を網羅的に列挙できる。現状や未来について人間の「認知のゆがみ」を是正できる。多くの要因間の「複雑」な関係性や影響を分析できる。「不確実性」や「あいまいさ」を組み入れた予測をなしうる、などの長所を持っているとされている。

一方、AIはシミュレーションの土台にある価値判断や意味の理解、感情という機能を持ち合わせておらず、結果を踏まえた意味の解釈や評価軸の選定、未来社会の構想などは全て人間の力が必要である。現時点でAIは政策立案における補助的なツールと考えており、今後の活用は、長所と課題を踏まえて検討していく。



人工知能(イメージ)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 ブルーボンド
- 2 ALPS処理水の海洋放出と原発
- 3 学校の文化芸術の育成
- 4 県営住宅 ほか



1人目
自由民主党
たかはし
高橋 こうすけ 議員
◆盛岡選挙区

各議員の質問の詳細と
答弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。



産後ケア事業の充実

問 産後ケア事業は、退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的としている。本県では現在、31市町村で産後ケア事業が実施されているが、提供するサービスにはバラツキがある。全ての県民が平等にサービスを受けるためには、全市町村で産後ケア事業を実施するとともに、各市町村が実施するメニューも拡充していく必要があると思うが、県の認識を伺う。また、利用のしやすさにも課題があるが、県としてどのように取り組んでいくのか、併せて伺う。

答 妊産婦が身近な地域できめ細かなケアを受けられる環境の整備が重要であることから、県では、全市町村での産後ケア事業の実施を目標に掲げ、事例集の作成・配布や県独自の産後ケア利用料の無償化に対する補助などにより、市町村の取り組みが拡大するよう支援してきた。

こうした取り組みにより、産後ケアに取り組む市町村も増えてきており、中には地元の宿泊施設を利用してデイサービス型事業を始めるなど、地域資源を活用した新たな取り組みも進んでいる。

また、利用促進に当たっては、利用者の負担軽減や利便性の向上も重要な視点であることから、各市町村で取り組んでいる事例を共有し、医療機関や助産師など地域の関係者とも意見交換を行いながら、利用者に配慮した事業のあり方についても議論を進めていく。



産後ケア(イメージ)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事の県政運営
- 2 若者等への就業支援
- 3 教育施策
- 4 消防の体制整備 ほか



2人目
希望いわて
ちば ひでゆき
千葉 秀幸 議員
◆奥州選挙区

各議員の質問の詳細と
答弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。



新たな周産期医療のあり方

問 一昨年の県立釜石病院における分娩停止や昨年の奥州市の個人病院におけるお産の受け入れの取りやめなどにより、周産期医療の課題が浮き彫りとなっている。本県では現在、患者搬送や治療動向を考慮し、4つの周産期医療圏を設定しているが、来年度は次期保健医療計画の策定期である。

妊産婦などが身近な地域でケアを受けられるよう、新たな周産期医療圏のあり方をどうするかを含め、よりきめ細かな環境整備が必要と考えるが、県の認識を伺う。

答 県ではこれまで、限られた医療資源のもとで、質の高い周産期医療を提供するため、県内4つの周産期医療圏を設定し、岩手医科大学附属病院が担っている総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターなどの機能分担と連携のもと、分娩リスクに応じた医療提供体制の整備を進めてきた。

次期保健医療計画の策定に当たっては、妊産婦の受療動向や医療資源の動向などを踏まえ、中長期的視点から質の高い安全な周産期医療体制の検討を行っている。また、胎児の心拍などの情報をリアルタイムに周産期母子医療センターに送信するモバイル型妊婦胎児遠隔モニターの活用や、**周産期医療情報ネットワーク「いーはとーぶ」**による情報連携に加え、今年度全ての妊産婦に拡充した健診のほか、分娩に係る通院・宿泊費の助成や産後ケアなど、市町村とも連携しながら、より安全・安心な妊娠・出産ができる周産期医療の充実に努めていく。



周産期母子医療センターの様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事の4期16年の総括と今後の展望
- 2 子育て支援
- 3 農業振興と農作物被害対策
- 4 教育振興 ほか



3人目
いわて県民クラブ
いざわ ただし
飯澤 匡 議員
◆一関選挙区

各議員の質問の詳細と
答弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。



新笹ノ田トンネルの整備促進

問 国道343号新笹ノ田トンネル整備に関する検討会議「第1回国道343号笹ノ田地区技術課題等検討協議会」が令和5年3月24日に開催され、国道343号全線の中で、笹ノ田峠が路線最大のあい路であること、急カーブや急勾配が存在する区間が連続しており、規格の低い道路構造であること、また、複数の断層のほか、自然災害や交通事故による通行規制が複数発生していることなどが確認された。

今後、この検討協議会において、技術的課題をさらに検討し、概略ルートや構造についての検討が進められると思うが、検討協議会を土台にした県や有識者からなる会議に国も参加し、防災や安全に関する検討に対して助言をいただきながら、国直轄による権限代行実施の検討を行うための調査の実施という流れが想定されるが、いかがか。

答 通常の直轄権限代行は、対策を行うべき道路交通上の課題が確認できるとともに、「全国的な幹線道路網の観点から特に重要なもの」、「高度な技術を要し、都道府県による施工が困難なもの」が採択要件となっており、道路交通上の課題やルート、構造などの調査が一定程度進んでいる必要がある。

直轄権限代行は、事業を進める上での制度の一つではあるが、まずは協議会において、対策の必要性や効果、技術的な課題などの検討を進め、その熟度を高めながら、国と情報交換していく。



笹ノ田峠の様子(冬季)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 達増県政16年の評価
- 2 JRローカル線の維持発展
- 3 ILCの実現に向けた県の対応
- 4 知事と県内首長とのコミュニケーション ほか

用語解説

- ▶**デマンド型乗合バス(3ページ)**…「デマンド」とは要望のことで、利用者からの要望に応じて運行するバス。
- ▶**モバイルクリニック(3ページ)**…医療機器などを搭載した専用車両が患者の自宅付近まで向かい、看護師によるサポートのもと、車内でオンライン診療を行うこと。
- ▶**周産期医療情報ネットワーク「いーはとーぶ」(4ページ)**…県内の周産期医療機関や市町村をネットワークで結び、妊娠届出・妊婦健診・分娩などの情報を登録・共有し、安心安全な妊娠・出産・育児を支援するための周産期医療情報システム。

- ▶**再構築協議会制度(5ページ)**…利用者の減少などにより厳しい状況にあるローカル鉄道の再構築に向け、鉄道輸送の維持・高度化やバス等への転換について話し合い、再構築方針を作成するため、自治体または鉄道事業者からの要請に基づき、国が「再構築協議会」を設置する制度。
- ▶**重層的支援体制整備事業(5ページ)**…市町村において、既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業。



1人目

いわて新政会

たかはし たじま
高橋 但馬 議員

◆盛岡選挙区

各議員の質問の詳細と
答弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。



インバウンドの拡大

問

2023年1月から5月までのベトナムからの訪日客数は、国・地域別の全市場の中で伸び率1位であり、ベトナム経済の明るい展望と中流層の急速な増加から、ベトナムに着目し、インバウンド誘致を仕掛ける自治体も出てきている。

台湾などとのパイプはこれまで同様に大事にしなければならないが、親日国で知られているベトナムなど、ポテンシャルのある新たな国との交流なども進めながら、観光施策を進めていくことも重要と考えるが、知事の見解を伺う。

答

本県の外国人宿泊者数の実績をもとに、台湾を最重点市場、中国・香港・韓国などの東アジアを重点市場、冬季スキー客の増加が期待できるオーストラリア、訪日客数が大きく伸びている東南アジアを開拓市場と位置づけてプロモーションを展開してきた。

今後、新たな市場を開拓していくためには、東北観光推進機構など広域的な組織と連携し、また、大使館や領事館の協力を得ながら、海外展開している大手百貨店や量販店の店舗などを活用し、県産品の海外市場への販売戦略と連動して観光プロモーションを展開していく手法が有効と考えている。このような考えのもと、今年度はマレーシアとシンガポールで、県産品フェアと観光プロモーションを実施する準備を進めているほか、現在、策定を進めているみちのく岩手観光立県第4期基本計画などの中で、新たな市場の開拓や今後のプロモーションのあり方などについて検討を進めていく。



FOOD TAIPEI 2023の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 県庁舎のあり方
- 2 県庁内保育施設
- 3 野生鳥獣被害対策
- 4 トップアスリートの育成 ほか



2人目

社民党

きむら ゆきひろ
木村 幸弘 議員

◆花巻選挙区

各議員の質問の詳細と
答弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。



JRローカル線における県内6路線の今後のあり方

問

本県のJR線のうち6路線については、その輸送密度により、早急に改善が必要であるとして、**再構築協議会制度**の対象となるが、今後の協議の中で、沿線自治体の首長会議と連携し、どう利用促進を図っていくのか。特に、JR釜石線で行われた貨客混載という考えが重要であるとする。

自動車物流などの2024年問題がクローズアップされているが、それぞれの交通機関の機能をどういう形で有機的に結び付けて有効に活用していくのか。三陸鉄道、IGR、JRという本県の抱えているローカル線を含めた地域公共交通政策について、総合的な視点に立った利用促進などの議論が必要になると思うが所見を伺う。

答

限られた運転士などの資源の中で、公共交通を維持していくためには、公共交通機関が有機的に連携していくことは必要であり、現在、策定に着手している次期公共交通計画では、新たな国の事業の積極的な活用を含めた議論をしていきたいと考えている。

列車、バスなどで荷物を輸送する貨客混載については、列車の有効活用を図るとともに、物流分野の省力化・効率化や環境負荷の軽減を図る観点から注目されており、JR北海道で取り組みがあると承知している。

JRや事業者間で採算性の検討が必要だが、旅客の利用促進だけでなく、地域振興策における列車の活用も含めて、沿線自治体との協議の場で検討しながらJRに提案していきたい。



JRローカル線維持確保連絡会議の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 東日本大震災津波からの復興と防災
- 2 地域医療
- 3 教育施策
- 4 がん対策



3人目

公明党

こばやし まさひろ
小林 正信 議員

◆盛岡選挙区

各議員の質問の詳細と
答弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。



社会福祉行政における相談支援の強化

問

社会福祉分野においては、複雑化、複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築することが重要である。

県として、社会福祉分野におけるソーシャルワークを強化する取り組み、また、ソーシャルワーカーの育成などの人材確保、体制整備などを含めた社会福祉行政における相談機能、相談支援の強化について、どのように進めていくのか伺う。

答

個人の価値観や生き方が多様化し、悩みや不安が複雑化する中で、より住民に寄り添った行政が求められる。生活上の課題に幅広く対応し、介護や子育て、生活困窮などの属性や世代を問わない支援を一体的に実施するためには、市町村が重層的支援体制を整備していくことが有効である。県では、**重層的支援体制整備事業**の実施市町村の拡大に向け、研修会の開催やアドバイザー派遣などにより、市町村の取り組みを支援している。

また、県においては、児童虐待相談などに迅速かつ的確に対応するため、児童相談所職員を計画的に増員してきたほか、多様化・複雑化する相談ニーズに対応する人材を育成するため、大学や福祉関係機関・団体との役割分担のもと、社会福祉研修事業を実施し、福祉職員全体のスキルアップを図っている。

今後も社会的包摂の視点に立って、市町村や関係団体など多様な主体との連携・協働のもと、相談支援体制を強化し、県民一人ひとりがエンパワーされるよう取り組んでいく。



相談支援(イメージ)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 東日本大震災津波からの復興
- 2 不登校対策
- 3 子育て支援・少子化対策
- 4 健康増進施策 ほか

傍聴の案内

令和4年度から、小学生以下の方も本会議を傍聴できるようになりました。親子で傍聴される際、もしお子様が泣いた場合でも、お休みいただけるお部屋(本会議のテレビ中継の視聴可)を用意していますので、安心して傍聴にお越しください。

※傍聴人数が10名を超える場合は、事前にお問い合わせください。

■お問い合わせ/岩手県議会事務局 総務課 電話:(019)629-6006(直通)



若者向け傍聴案内ポスターデザインコンテスト入賞作品の中から、6月定例会のポスターを作成しました。

岩手県立不来方高等学校 **佐々木 初恵** さん

若い世代の人達に県議会に対して親近感を持ってもらうために、学生服の男女を大きく描き、岩手の未来を見据えるという意味を込めて、2人を横向きに配置し、遠くを見つめる構図にしました。私自身、県議会に行ったことがなく、この作品をきっかけに県議会について知りたいと思い制作しました。



常任委員会の活動状況

県の仕事は教育や福祉、環境問題など、その領域は広く、また複雑化しています。

このため、県議会ではこれらの問題を効率よく専門的に審査し、限られた会期中で多くの議案や請願陳情を審議するため、5つの常任委員会を設けています。常任委員会では、付託された議案等を審査するほか、委員会単位で現地を訪問し、課題の調査等を行っています。

ここでは、6月定例会において各常任委員会で審査した議案および請願と、5月に行った現地調査をご紹介します。

○総務委員会（菅野ひろのり 委員長）

6月定例会で審査した議案および請願

【議案】

議案第2号 岩手県の事務を市町村が処理することとする事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
議案第4号 岩手県県税条例の一部を改正する条例 ほか7件

【請願】

受理番号第105号 社会保障制度の整備、子育て施策、ふるさと振興の推進のための地方財政の充実・強化を求める請願 ほか2件

現地調査

令和5年5月16日～17日

【調査先】青森県平川市
【調査事項】新本庁舎建設事業の概要について

【調査先】青森県弘前市
【調査事項】市民参加型のまちづくりについて

【調査先】一般社団法人秋田犬ツーリズム（秋田県大館市）
【調査事項】地域連携DMOによる地域振興の取り組みについて



青森県平川市



一般社団法人秋田犬ツーリズム

○文教委員会（佐々木宣和 委員長）

6月定例会で審査した議案および請願

【議案】

議案第11号 岩手県立不来方高等学校校舎大規模改造（建築）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
議案第14号 岩手県立学校共同実習船建造の請負契約の締結に関し議決を求めることについて ほか3件

【請願】

受理番号第103号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを求める請願

現地調査

令和5年5月16日～17日

【調査先】青森県三沢市
【調査事項】三沢市の英語教育と国際交流の推進について

【調査先】八戸市長根屋内スケート場（青森県八戸市）
【調査事項】Y Sアリーナ八戸の概要について

【調査先】八戸市美術館（青森県八戸市）
【調査事項】人とまちを育む美術館について

【調査先】青森市立小柳小学校（青森県青森市）
【調査事項】ICTの活用とデジタル教科書の導入について



青森県三沢市



Y Sアリーナ八戸

○環境福祉委員会（佐々木朋和 委員長）

6月定例会で審査した議案および請願

【議案】

議案第7号 岩手県手数料条例の一部を改正する条例（環境福祉委員会付託分）
議案第19号 いわて男女共同参画プランの変更に關し議決を求めることについて

【請願】

受理番号第104号 特定商取引法の平成28年改正における5年後見直し規定に基づく抜本的改正を求める請願 ほか4件

現地調査

令和5年5月18日～19日

【調査先】秋田県大仙市
【調査事項】健幸まちづくりプロジェクトについて

【調査先】株式会社アルファシステム（秋田県秋田市）
【調査事項】フレイル健診システムについて

【調査先】秋田臨海処理センター（秋田県秋田市）
【調査事項】秋田県流域下水道を核に資源と資産活用で実現する秋田の再エネ地域マイクログリッドについて



株式会社アルファシステム



秋田臨海処理センター

○商工建設委員会（佐藤ケイ子 委員長）

6月定例会で審査した議案および請願

【議案】

議案第3号 緊急雇用創出事業臨時特例基金条例の一部を改正する条例
議案第10号 一般国道397号小谷木橋旧橋撤去（下部工）（第3工区）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて ほか2件

【請願】

受理番号第111号 認定職業訓練振興のための施策の推進について請願

現地調査

令和5年5月18日～19日

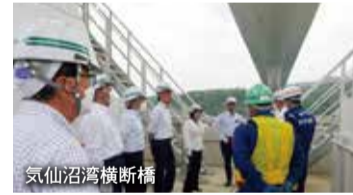
【調査先】宮城県栗原市
【調査事項】栗原市の移住定住施策について

【調査先】宮城県白石市
【調査事項】白石城を活かした観光の取り組みについて

【調査先】南三陸沿岸国道事務所（宮城県気仙沼市）
【調査事項】気仙沼湾横断橋の概要について



宮城県白石市



気仙沼湾横断橋

○農林水産委員会（川村伸浩 委員長）

6月定例会で審査した議案

【議案】

議案第16号 損害賠償請求事件に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めることに関し議決を求めることについて

現地調査

令和5年5月23日～24日

【調査先】公益財団法人宮城県水産振興協会（宮城県塩竈市）
【調査事項】みやぎ漁師カレッジの取り組みについて

【調査先】アクアイグニス仙台（宮城県仙台市）
【調査事項】太陽熱利用型ハウス栽培および食と農を通じた地域振興の取り組みについて

【調査先】宮城県林業技術総合センター（宮城県大衡村）
【調査事項】みやぎ森林・林業未来創造カレッジの取り組みについて



アクアイグニス仙台



宮城県林業技術総合センター

特別委員会の活動状況

特別委員会は、特に必要と認める事項の審査や調査のために、本会議の議決で設置される臨時的な委員会です。

決算特別委員会、予算特別委員会のほか、次のページに掲げる特別委員会を設置しました。

調査事項に関する学識経験者や専門家を参考人として招致し、それぞれの取り組みについて説明を受け、質疑・意見交換により議論を深めました。現地調査では、県内外の先進的な取り組みなどを調査しました。

7月7日の6月定例会最終日の本会議において、調査結果を各委員長から報告し、県に対して今後の施策の推進に当たり配慮するよう要望を行い、調査を終了しました。

各特別委員会の詳しい活動状況については、次のページでお知らせします。

特別委員会の活動状況

東日本大震災津波復興特別委員会 (名須川晋 委員長)

〈調査事項：東日本大震災津波に係る復旧・復興などに関する調査〉



委員会の開催

令和5年4月20日

岩手大学 名誉教授 齋藤徳美氏を招き、復興の課題と日本海溝津波への対応について説明を受けた後、防災先進地として岩手県が果たす役割や今後の可能性、震災復興と三陸鉄道の関わり、住民の足としての鉄道のあり方、首都直下型地震の被害想定などについて意見交換を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会 (高橋はじめ 委員長)

〈調査事項：新型コロナウイルス感染症対策に関する調査〉



委員会の開催

令和5年4月20日

盛岡市立病院 院長 加藤章信氏を招き、新型コロナウイルス感染症対応の振り返りと今後 5類へ移行した後の医療対応について説明を受けた後、移行後の病院の受け入れ体制、高齢者施設への対応、後遺症対策などについて意見交換を行いました。

デジタル社会・DX推進調査特別委員会 (佐々木宣和 委員長)

〈調査事項：デジタル社会およびDXの推進に関する調査〉

委員会の開催

令和5年1月12日

株式会社Eco-Pork 営業部リーダー 町田遼氏を招き、テクノロジーを活用した畜産業の振興について調査を行いました。

現地調査

令和5年1月31日～2月2日

[調査先] 静岡県掛川市
[調査事項] 掛川市DX推進計画について

[調査先] 株式会社木村鋳造所 (静岡県御前崎市)
[調査事項] 3Dデータを活用した鋳造等について

[調査先] 愛知県豊橋市
[調査事項] テクノロジーを活用した防災の取り組みについて



掛川市役所



株式会社木村鋳造所

地球温暖化・エネルギー対策調査特別委員会 (柳村一 委員長)

〈調査事項：地球温暖化やエネルギーに関する調査〉

委員会の開催

令和5年1月12日

北海道大学大学院工学研究院 教授 林基哉氏を招き、寒地における建築物の低炭素化と健康について調査を行いました。

現地調査

令和5年1月31日～2月2日

[調査先] 東京都千代田区
[調査事項] 千代田区における地球温暖化対策の取り組み等について

[調査先] 長野県
[調査事項] 長野県における地球温暖化対策の取り組み等について

[調査先] 長崎県五島市
[調査事項] 五島市における再生可能エネルギーへの取り組み等について



千代田区役所



長崎県五島市

教育・子ども政策調査特別委員会 (吉田敬子 委員長)

〈調査事項：教育や子育て環境に関する調査〉

委員会の開催

令和5年1月12日

一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム ディレクター 長谷川勇紀氏を招き、高校の魅力化について調査を行いました。

現地調査

令和5年1月24日～26日

[調査先] スマイルファクトリー (大阪府池田市)
[調査事項] 公設民営フリースクールでの学びについて
[調査先] ひまわりプラザ、海田西小学校 (広島県海田町)
[調査事項] ・かいた版ネウボラの取り組みについて
・不登校SSRの取り組みについて

[調査先] 広島県
[調査事項] ・子供の予防的支援について
・子供アドボケイトの取り組みについて
・広島県の特徴ある教育について



スマイルファクトリー



海田西小学校

新産業創出・働き方改革調査特別委員会 (岩淵誠 委員長)

〈調査事項：新産業創出や働き方改革に関する調査〉

委員会の開催

令和5年1月12日

株式会社ミツイ 代表取締役社長 金沢和樹氏、ソーシャルサポート事業部 GM 佐藤大介氏を招き、多様な働き方と魅力ある職場環境の整備について調査を行いました。

現地調査

令和5年1月24日～26日

[調査先] まつえ産業支援センター (島根県松江市)
[調査事項] Ruby City MATSUE プロジェクトについて
[調査先] 株式会社石見銀山生活観光研究所 (島根県大田市)
[調査事項] ライフスタイルブランド「群言堂」について
[調査先] 山口市産業交流拠点施設 (山口県山口市)
[調査事項] 新山口駅周辺の拠点性向上による産業振興について
[調査先] 山口県産業技術センター (山口県宇部市)
[調査事項] 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進について



株式会社石見銀山生活観光研究所



山口県産業技術センター

県民と県議会との意見交換会

スポーツによる地域活性化と働きながら安心して子どもを 生み育てられる環境づくり について意見交換を行いました。

県議会では、定期的に県民の皆さんとの意見交換会を行っており、令和5年度の前期は、4月25日に金ケ崎町、4月27日に滝沢市を会場に開催しました。

金ケ崎町会場では、競技指導や住民の健康づくりなど県南地域でスポーツ振興に取り組む方たちが参加し、「スポーツによる地域活性化について」をテーマに、地域の特色を活かしたスポーツの普及や生涯スポーツの広がりについて意見を交わしました。

また、滝沢市会場では、子育て支援に取り組む企業や団体、関係機関などで活動する女性たちが参加し、「働きながら安心して子どもを生み育てられる環境づくり」をテーマに、女性が働きやすい職場環境の整備や、必要な支援制度などについて意見を交わしました。



金ケ崎町会場

参加者の感想

工藤 博さん(金ケ崎町会場/nokka代表)

クロスカントリーで冬季オリンピックに出場し、29歳で引退しました。4年前に西和賀町に移住し、木工業に携わりながらスキーの指導をしています。自然豊かな岩手県には全国に誇れるアクティビティがありますが、知らない方が多いです。西和賀町は雪がブランドです。スキー用具に加え、指導者を確保するための支援が必要だと思います。今日はスポーツを多角的な視点から捉えられ、今後の自分のビジョンが見えてきて、大変有意義でした。



滝沢市会場

宮野 亜由美さん(滝沢市会場/花っ娘代表)

花っ娘は、八幡平市で安代りんどうを生産しており、8名のパートを雇用しています。皆さん、子育て中のお母さんです。私自身が子どもと一緒にいられるから農業を選んだので、急用ができれば帰っていいですし、1時間でも働けるときにきてくださいと柔軟な体制にしています。働く母親のための環境づくりは本当に大切なことだし、真剣に取り組んでいる企業に共感できました。農業など第一次産業も、育休制度を考えていかなければならないと思います。

開催
予告

自由研究にもおすすめ！ 冬休み！親子県議会教室開催のお知らせ

県議会では今年度も「親子県議会教室」を開催します。
クイズで県議会の役割を学んだり、県議会議事堂を探検して、実際に議員席に座ってみたり、親子で楽しく県議会を体験してみませんか？
県内の小学校・義務教育学校に通う5・6年生と保護者の皆様の参加をお待ちしています。

開催概要 ■ 開催日：令和5年12月26日(火) ■ 開催場所：岩手県議会議事堂
■ 内容(予定)：・県議会議事堂を探検してみよう ・県議会議員にいろいろ聞いてみよう ・県議会クイズに挑戦しよう など

参加方法 11月上旬から岩手県議会ホームページなどでお知らせします。
昨年度の様子はこちらをご覧ください。 <https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/oyako/1059800.html>

携帯電話・スマートフォンからはこちら



親子で県議会クイズに挑戦！（昨年度の様子）

参加した児童の感想／わたしは、県議会のことをあまり知りませんでした。けれども、県議会クイズなどで楽しく県議会のことを知れて良かったと思いました。また、ふだんはできない議長や副議長などの席に座ったり議員との名しこうかんやふれあいトークなどをするなどの良い体験をすることができたなあと思いました。今日の体験でわたしは、県議会についてもっと知りたいと思いました。今日は、本当にありがとうございました。

参加した保護者の感想／子供自身は緊張していたようですが、議場に入ったり名刺交換をしたり、なかなか経験できないことを体験でき、良かったと思います。私も議場に入ることができ、うれしかったです。

県議会からの お知らせ

●インターネット中継

県議会ホームページでは、**本会議や予算・決算特別委員会のライブ中継**をしているほか、**録画中継も**行っていますので、ぜひご覧ください。



●岩手県議会公式チャンネル(YouTube)

一般質問等のほか、岩手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「**わたしたちの岩手県議会**」をYouTubeで配信しています。公式チャンネルからご覧ください。

岩手県議会公式動画チャンネル

●テレビ広報 県議会ダイジェスト番組「きょうの県議会」【総集編】

一般質問の様子を**3分程度にまとめた番組**を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビの各放送局で質問当日の18時50分台に放送します。

また、一般質問が終わった翌々週の土曜日、10時から12時までの間に「**きょうの県議会総集編**」をテレビ岩手で放送します。令和5年度からは字幕および手話通訳を付ける取り組みを行っています。 ※放送時間は変更になる場合があります。

●岩手県議会Facebook

議会の日程や最近のトピックなどを配信するため、岩手県議会Facebookページを開発しています。県議会ホームページの「**岩手県議会Facebook**」をクリック！



●岩手県議会パネル展示のご案内

県議会議事堂1階玄関ホールと2階議会図書室において、県議会の歴史や活動を紹介するパネル展示などを行っています。どなたでも自由にご覧いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

●一般質問に登壇する議員と質問項目

各定例会で一般質問に登壇する議員と質問項目は、**定例会開会日の本会議終了後**に県議会ホームページでお知らせしています。県議会ホームページの「**一般質問通告**」をクリック！

●請願の提出

請願の提出には、**県議会議員の紹介(署名)が必要です**。請願を提出する方は、**審査を希望する定例会の招集日までに会派など(議員)に対して十分に説明**を行い、議員の紹介を受けた上で、請願審査が行われる**常任委員会開催予定日の3日前の正午**までに県議会事務局に提出してください。

なお、提出期限などの具体的な日時は、定例会ごとに会期などと併せて県議会ホームページでお知らせします。

●議場見学のご案内

県議会では、開かれた議会を目指し、議場の見学を受け付けています。議場見学では、議会事務局職員が、議会運営の概要や議場内の施設を説明します。学校の社会見学、町内会の生涯学習行事など、お気軽にお越しください。

※本会議開催日など見学できない日がありますので、事前にお問い合わせください。
お問い合わせ・お申し込み先/岩手県議会事務局 総務課 電話：(019)629-6006(直通)

●こんにちは県議会(キッズページ)のご案内

県議会ホームページでは、県議会についてわかりやすく説明したキッズページを開発しています。パンフレットのダウンロードもできますので、ぜひご覧ください。県議会ホームページの「**こんにちは県議会**」をクリック！



岩手県庁の隣です



ホームページのご案内

議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続等をご覧ください。
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

編集・発行・
問い合わせ先

岩手県議会事務局

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
電話 (019) 629-6021・6022 FAX (019) 629-6014
E-mail gikai@pref.iwate.jp